



高德寺だより

令和4年2月15日 NO. 147

曹洞宗 高德寺

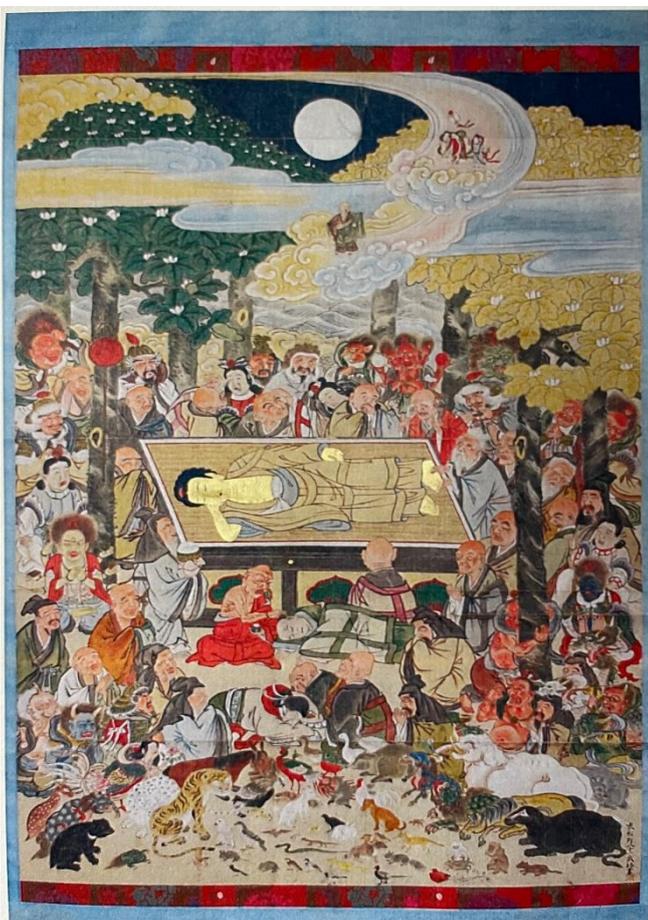
TEL 0238-42-2859

<https://koutokuji-sotozen.com/>



～歴史に残る大法要～

高德寺慶弔会が行われます



■高德寺檀信徒の皆様いかがお過ごしでしょうか。

思いがけない大雪になり除雪作業などでお疲れの方も多きことと拝察し、心からお見舞い申し上げます。さて、いよいよ高德寺慶弔会まで2か月余りとなりようやく皆様のお手元にご案内をお届けする事が出来ました。見やすく、簡潔に分かりやすく心がけたものの言葉足らずかもしれませんので、少し補足などさせていただきます。【本葬儀について】本葬儀は28世泰雄大和尚の正式な葬儀並び告別の儀式となります。昨年の密葬儀は火葬までの略式でありましたが、この度は本山関係者や御来賓の皆様にご臨席賜り、弔辞等を拝読頂くと共に複数の御導師様により古式ゆかしき作法で法要が執り行われます。

50名程のご寺院様による読経の中、多くの皆さま

にご焼香頂ければ有り難いです。尚、当日は午前中から儀式が始まりますが、コロナ禍の状況を考慮し檀信徒の皆様には午後からの案内とさせていただきます。密葬では都合によりお別れが出来なかった方もいらっしゃるようなので、この機会に大和尚の遺徳を偲んで下さいますようお願い申し上げます。依然としてコロナ禍の状況は心配ではありますが出来る限りの対策を取りたいと思います。さて、写真はお釈迦様の臨終間際の様子を描いた涅槃図であり高德寺所蔵の物です。御命日は2月15日。良くご覧いただくと大勢のお弟子様はじめ動物たちの嘆く様子も描かれており、また最後の説法が「遺教経」というお経にまとめられ今日に伝えられております。

55年ぶりに晋山式を行います

【晋山式について】2日目に行われます晋山結制の儀式は実に55年ぶりに執り行われます。何と言っても新住職にとっては一世一代の大法要です。ご年配の方はご存じの事と思いますが、泰雄大和尚が昭和42年に修行して以来となります。下の懐かしい写真は、この度見つかった貴重なスナップ写真で、中央に見えるのが当時新住職・泰雄大和尚若かりし頃の姿です。白黒ではありますが皆さんの息づかいが伝わります。また、頭上に番傘を掲げている元理事の嶋津玄治さんが、やや右後方に見えます。皆さん緊張の面持ちで山門からいよいよ本堂に乗り込もうとする様子ですが、この



時大きな太鼓の響きに導かれる姿がとても圧巻です。尚、当時稚児行列は行われなかったため、初めての取組みとなります。コロナ禍に配慮し、沿道にて地域の皆さんに見て頂きお声がけ頂けるようにと大塚交流センターから少し長めの距離を行列したいと考えたところです。稚児行列への参加は家族の我が子への大きな

期待と無事を祈る大事な信仰ととらえる地域も多いようです。どうぞ、皆さまご期待あれ。

右の写真は、先々代の晋山記念です。111年前のとても貴重な1枚です。本堂の面影はそのままですが、公園は当時桑畑だったそうです。和服で正装し参列する方々に時代を感じますが、お寺を支えて下さる信仰の深さにあらためて敬意と感謝の念を覚えます。さて、今般の歴史に刻む大法要。護持会役員一同、入念な準備を重ね皆さんのご来山を心よりお待ち申し上げます。今後とも高德寺をよろしく申し上げます。

